

ロジックモデル(災害医療)に関する論点

1 目指す姿（分野アウトカム）について

- 記載内容
 - ・ 長野県が目指す、「あるべき県民・患者の状態」として適切か
- 指標
 - ・ 記載内容を評価する指標として適切なものはあるか

2 中間成果（中間アウトカム）について

- 区分
 - ・ 区分の分け方、記載内容は適切か
- 記載内容
 - ・ 目指す姿（分野アウトカム）に繋がる、「県民・患者の状態」「医療サービスの状態」として適切か
 - ・ 第7次計画からの同様の中間成果（中間アウトカム）としたいがいかがか
- 指標
 - ・ 記載内容を評価する指標として適切なものはあるか

3 個別施策について

- ・ 地域の実情に応じた災害時の医療提供体制について、他県では災害時に多く発生する中等症患者を積極的に受け入れるなど、災害拠点病院に協力する医療機関を指定し、協力体制を促している例もあるようだが、次期計画において検討・対応すべきことがあるか
- ・ 関係機関の役割の確認、役割に応じた医療機関間連携の更なる推進については、訓練への参加等を通じて実施しているところだが、現行の取組の強化や新たな取組の必要があるか
- ・ 国の医療計画作成指針に、「都道府県や医療機関が、災害時等において医療コネクテナを活用する」ことが追加された。
費用面や保管場所、活用方法等の課題があると思われるが、活用方法の検討を進める必要があるか
- ・ そのほか、次期計画において重点的に取り組むべき施策はなにか